

### 経営体の概要

- ・所在地: 鳥取県八頭郡八頭町下坂442
- ・経営体名: 有限会社田中農場
- ・栽培作物・作付面積: 水稻・94.7ha、豆類・3.5ha、白ねぎ他野菜類・3.4ha、飼料作物・11.9ha、その他・1.5ha。計115.4ha。
- ・役員数: 4名、従業員数: 17名(平成29年現在)

### 導入技術

- ・フェイスファーム(営農管理システム、ソリマチ(株)製)
- ・作業時間と燃料の記録ができるスマートアシストコンバイン2台(他に通常機2台)、トラクタ1台(他に通常機1台)(共にヤンマー製)
- ・外部委託: ドローン(農薬散布、リモートセンシング)

### 導入経緯

- ・ほ場が550筆程あり、作業の効率化やほ場間違いを防ぐために、平成29年度にフェイスファームを導入。
- ・平成29年度より、外部委託によるドローン活用を開始。



ほ場管理画面

ドローンによる農薬散布の様子

### 取組の特徴・効果

#### [フェイスファーム]

- 550筆のほ場情報をフェイスファームで一元管理。
- 現場から端末を使って、ほ場を地図(グーグルマップ)で確認できるため、除草剤施用等のほ場間違いを防止できる。
- 社員へもほ場ごとの作業記録を入れるよう指導。
- これにより、社長が作業者の作業時間を見て進捗管理も可能になる。

#### [従業員への技術伝承・育成]

- 技術伝承は、耕耘・代かき・収穫作業のポイントについて社員指導しており、早い者で技術習得に3年かかる。
- フェイスファームを用いた従業員の作業時間管理による作業時間の短縮が、従業員の技術習得につながると考えている。

#### [外部委託:ドローン]

- 病虫害防除(粃枯細菌病対策)で10ha実施。
- イネの葉色から土壌肥沃度を推定し、ほ場の地カムラがわかるシステム。
- 計測、解析、資料提供及びフェイスファームへのアップロードを外部委託し、翌年の土づくりや元肥に活用している。